

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	青年期以降の Fallot 四徴症術後患者における赤血球分布幅と血行動態指標の関連		
1. 研究の目的と方法	Fallot（ファロー）四徴症は、生まれつき心臓の構造に異常がある先天性心疾患の一つです。手術によって心臓の血液の流れを改善した後も、心臓の状態を確認するため、長期にわたって定期的な検査や経過観察が必要となります。 この研究では、過去に Fallot 四徴症の根治手術を受け、東京慈恵会医科大学附属病院小児科に通院中に心臓カテーテル検査を受けられた 16 歳以上の患者さんを対象に、過去の診療記録（カルテ）から収集した情報を用いて、通常の血液検査で測定される「赤血球分布幅（RDW）」（血液中の赤血球の大きさのばらつきを示す値）の値と、心臓カテーテル検査で測定された心臓や血管の状態を示す値との関連を調べます。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日　～ 2031 年 9 月 1 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	東京慈恵会医科大学附属病院小児科において、2013 年 4 月 1 日～2026 年 8 月 31 日の期間に、ファロー四徴症根治術後の定期心臓カテーテル検査を受けた 16 歳以上の患者さんのうち、心臓カテーテル検査前 48 時間以内に血液検査を受けた方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、体格、既往歴・併存疾患、手術歴、内服薬、検査結果（血液検査、心臓カテーテル検査など）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　小児科講座
		氏名	古河　賢太郎
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2026 年 9 月末頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 小児科学講座 研究責任者：助教 古河 賢太郎（こがわ けんたろう） 電話番号：03-3433-1111（内線 3340） 対応時間：平日 09：00 ～ 16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。